

## 天声人語

「ダーティーハンド」（汚れた手）という名の講義を米国の大で受けたことがある。君たちも社会に出ればきれいごとだけでは済まない、違法すれば仕事を命じられたらどうするか。教授がきわどい事例を次々に挙げ、公務員や法律家を志望する学生たちが熱心に論じた▼20年以上も前の昔話を思い出したのは、財務省が公表した森友学園に関する決裁文書を読んだからだ。14もの文書に改変した跡がある。相当の手間と時間を費やしだろう。もはや「書き換え」などという代物ではない▼文書に登場する政治家は10人。首相夫人は5回も出てくる。昨年の国会審議では「夫人は私人」という形で不問に付されたが、も出でくる。政治家の名代、つまり公人中の公人としてその風圧を受け止めていた模様である▼全78ページを読んで感心するのは、この取引で際だつ財務省内の受け止めは違った。首相の名代、つまり公人中の公人としてその風圧を受け止めていた模様である▼全78ページを読んで感心するのは、この取引で際だつ政治家や秘書、夫人の足跡について細大漏らさず削り込まれていることだ。外形的には虚偽がなく、実質的には虚偽に満ちた文書に仕上がった。ダーティーハンドの悪例と評すべきだろう▼国会審議をふりかえれば、財務省は当初、「文書は廃棄した」という答弁で逃げ切ろうとした。その後は「捜査に影響が出る」という釈明を盾に追及をかわそうとした▼昨春来、丸々1年もそんな答弁を浴びて軽んじられてきたのは国会だが、詰まるところ、いまの議員を投票で選んだ私たち有権者も侮らっていたわけである。未曾有の不祥事と呼ぶべきであろう。

2018・3・13